



【ここはマカティ・アベニュー、首都圏の中心につながる。名物のジブニーも走りいかにもフィリピンらしい】
「煙草のバラ売り」・・・フィリピンでは、どこにでも見かける風景である。

奥の兄ちゃんは既に着火・喫煙状態となり、チェーンのついた 100 円ライターをオバちゃんに返却中。

真ん中の兄ちゃんの右手には、しっかりコインが握られ、最終手続中。

手前の兄ちゃんは煙草をくわえ、ライターの空く迄の間、携帯をチェック中。

商品を覗いてみると、キャンデーもバラでおいてある。

このオバちゃんの店は、いつもは閑散としているのに、誰か一人、立寄り、吸い始めると次々に人を呼ぶ。

きっと、その姿にニコチンの誘惑がしのびよるのだろう。

この 3 人が去ったあと、店の前には、ひとけ（人気）はなくなり、オバちゃんは居眠りを始める。

煙草一本のお値段 10 ペソ（25 円）なり。

箱から煙草を取り出し、吸っている人がすごく金持ちに見える。